

湘南慶育病院

佐藤 健(リハビリテーション部 理学療法士 入職1年目)

功 績 理学療法士の佐藤は、回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中後の重度歩行障害を呈した患者さんに対し、Redcord を用いた低負荷高頻度での下肢エクササイズによる理学療法を展開した。

その結果を、K大学の教授及び、当院リハビリテーション部の久保部長、理学療法副主任の肥田の指導を受けて、第40回神奈川県理学療法士学会で発表したところ、「優秀賞」を受賞し、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献した功績。

推 薦 者 久保 雅昭(リハビリテーション部 部長)

推 薦 理 由 当院リハビリテーション部の佐藤健(理学療法士)が、回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者に対して、質の高い理学療法アプローチを実施し、第40回神奈川県理学療法士学会にて、「優秀賞」を受賞しました。

これは、当院の新人研修プログラムが高度な人材育成に繋がった好事例であり、今後もこのような人材育成を進めて参ります。「優秀賞」の受賞により、当院の知名度向上にもつながった事は、理事長賞に値するとし、推薦いたします。

内 容

当院リハビリテーション部の佐藤健(理学療法士 入職1年目)が、回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中後の重度歩行障害を呈した患者さんに対し、Redcordを用いた低負荷高頻度での理学療法を展開し、患者さんの歩行障害を改善することができた。

Redcordは、スポーツの現場で多く用いられているトレーニング機器。当院では脳卒中患者の麻痺側下肢の運動機能向上を目的に活用しており、効果的に脳卒中患者の歩行改善を図っている。

佐藤は、新人教育の過程でRedcordの活用方法について肥田副主任から指導を受け、多くの脳卒中患者に活用し研鑽を積んできた。これらの新人教育と自己研鑽の継続により、質の高い理学療法の実践につながる事ができた。

実践の成果について、2024年2月4日に開催された第40回神奈川県理学療法士学会で、K大学の教授と当院リハビリテーション部の久保部長、肥田副主任とともに演題を作成し発表したところ(下記演題)、優秀賞を受賞し、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献しました。

「高頻度での麻痺側股関節伸展運動により歩容が改善した脳卒中片麻痺症例」